

学校運営協議会 議事録

校名	府立阿倍野高等学校
校長名	平松 敏機

開催日時	令和4年2月25日(金)
開催場所	書面開催
出席者(委員)	池嶋会長、奥野副会長、天畠委員、池田委員、松波委員、畠野委員
出席者(学校)	平松校長、溝畑教頭、赤坂事務長、池嶋首席、重松首席、他関係者
傍聴者	
協議資料	令和3年度学校経営計画(学校評価)、学校教育自己診断アンケート結果、令和4年度学校経営計画(案)、進路実績について
備考	

議題等(次第順)
(1) 令和3年度の学校経営計画(学校教育自己診断と分析、本年度の取組及び自己評価)について (2) 令和4年度の学校経営計画(中期的目標、本年度の取組及び自己評価)について (3) 進路実績について(各学年・部長より) (4) 全体を通しての感想・質問について

協議内容・承認事項等(意見の概要)
(池嶋委員長) 中期的目標に掲げられた3項目(学力向上と進路実現、総合的な探究の時間の推進、府民に信頼される魅力ある学校づくり)のすべてにおいて別紙「令和3年度学校経営計画及び学校評価(案)」に示されている通り顕著な成果をあげておられると判断します。 特筆すべき内容を書記に挙げます。 新型コロナ禍により感染防止対策が依然として求められる中、あらゆる教育活動を通常通り実施することが困難であったことが推察されますが、そのような状況にあってもこのような成果を収められたのは、生徒の学びを保障しようとする貴校の教職員すべての皆様の教育に対する強い情熱によるものと考えます。まず皆様に改めて心から敬意を表します。 学力向上と進路実現に関わってですが、コロナ禍は教員の皆様に指導方法の再考を求めるきっかけになったかもしれません。Withコロナの中で先生方のICT活用率が上がった(R2 64%→R3 74%)のは必然であったかもしれませんが、Society5.0を見据え、ICTの効果的利活用による授業改善を引き続き宜しくお願い致します。 また、「進路指導・情報提供に関する肯定値」がR2 67%からR3 85%へ大幅に上がったのは、進路別説明会など生徒に寄り添った学習・進路ガイダンス機能を充実させたことによるものと考えます。 総合的な探究の時間の推進では、国際交流が難しい中、米国生徒の短期受入や韓国高校とのWEB交流を実施するなど、コロナ禍の中でも工夫すれば国際交流が実施できることを示されました。 最後に、府民に信頼される魅力ある学校づくりに関わって、校内連携・教職員間の意思疎通と経験の少ない教職員をサポートする体制がそれぞれ大幅に上がって(R2 45%→R3 74%、R2 41%→R3 60%)います。チーム学校が叫ばれている昨今、教職員の皆様の意思疎通・連携が何よりも求められます。教職員が1つのチームとなるよう、引き続き宜しくお願い致します。 (松波委員) 百周年事業として計画されている現同窓会館2Fのサロンのアクティブラーニング化について、その使い道(教室として、サロンとして、食堂として)を検討していただきたい。 (天畠委員) 保護者として進路指導に関するサポートを今ひとつ感じる機会が弱かった。進路についての情報源が、自身でネットで調べるか、塾等で聞く生徒が多いように感じた。 もっと学校でも情報やサポートが得やすい環境づくりが必要な気がした。 (奥野委員) 創立百周年については、次のような内容が入ればよいと思います。 ・「一丸となって取り組む。」→「一丸となって取り組みを成功させる。」→「一体感を強め、次の世紀へとつなげる。」 (畠野委員)

次回の会議日程	
日時	令和4年7月ごろ
会場	